

(一社)東北経済連合会

左から、齋藤さん、海輪会長、千田さん



### 新春座談会

# 2020年、その先へ

## 復興五輪・パラリンピックと「東北ハウス」

東日本大震災からの復興を後押しする「復興五輪・パラリンピック」と位置付けられる東京五輪の開幕が迫りました。トップアスリートの姿に世界中がわきたつとともに、海外から来日する多くの人々が、日本に触れる機会となるでしょう。私たち東北の官民は、その熱気を東北に呼び込み、東北の持続的な成長につなげる必要があると考えています。

本座談会には、北京五輪の女子ソフトボールで日本代表を金メダルに導いた齋藤春香さん、ロンドン五輪のフェンシング男子フルーレ団体で銀メダルに輝いた千田健太さんをお招きしました。東北出身のアスリートであるお二方に、復興五輪への期待、故郷への思いを語って頂きました。

(聞き手=海輪誠・東北経済連合会会長<東北電力取締役会長>)

撮影場所:仙台国際ホテル

### 座談会出席者

日立ソフトボール部(日立サンディーバ)監督	青森県 弘前市出身	さいとう 春香 氏
独立行政法人日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター ハイパフォーマンス戦略部戦略課	宮城県 気仙沼市出身	ちだ 健太 氏
東北経済連合会会長	東北電力取締役会長	かいわ 誠 氏

Hitachi Social Innovation is  
**POWERING GOOD**

世界を輝かせよう。

**HITACHI**  
Inspire the Next

より良い未来のために、力を尽くしたい。  
それはきっと誰もが持っている想いです。

日立も同じ想いで、持続可能な社会の実現をめざし、  
デジタル技術と暮らしや産業を支えるインフラ技術を融合させ、  
世界中のパートナーとともに、社会イノベーションを加速させていきます。



より良い未来に向けた日立の取り組みはこちら

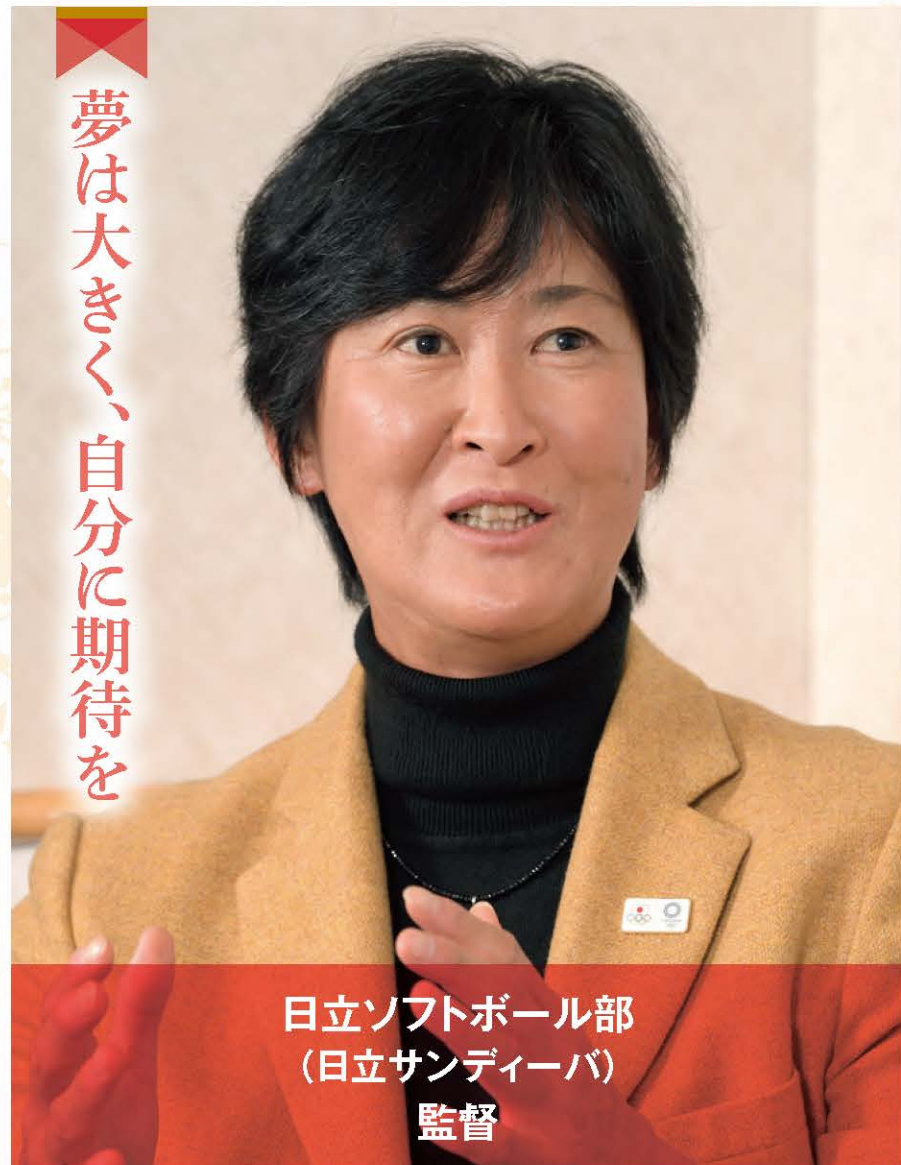
社会イノベーション



<https://social-innovation.hitachi/>



夢は大きく、自分に期待を



日立ソフトボール部  
(日立サンディーバ)  
監督

齋藤 春香 氏

さいとう・はるか 青森県弘前市出身。現役時代は3大会連続で五輪のソフトボールに出場し、シドニー五輪で銀メダル、アテネ五輪で銅メダルを獲得。女子日本代表監督として臨んだ北京五輪では金メダルに導いた。弘前市職員としてソフトボール普及に務めた後、19年に日立サンディーバ監督就任。

全力の挑戦は人生に活きる



独立行政法人日本スポーツ振興センター  
ハイパフォーマンスセンター  
ハイパフォーマンス戦略部戦略課

千田 健太 氏

ちだ・けんた 宮城県気仙沼市出身。北京五輪、ロンドン五輪に出場。ロンドン五輪ではフェンシング男子フルレ団体で銀メダルを獲得。気仙沼市市民栄誉賞を受賞したほか、みやぎ絆大使に任命される。16年10月の岩手国体を最後に現役引退。アスリート強化・支援や、これら分野の研究活動に当たる。

感謝・魅力、国内外へ発信



東北経済連合会会長  
(東北電力取締役会長)

海輪 誠 氏

かいわ・まこと 東京都出身。1973年東北電力入社。2010年に社長就任。翌11年に東日本大震災が発生し、震災からの復旧・復興に向けて陣頭指揮を執る。15年に東北電力取締役会長就任。16年6月、東北経済連合会会長就任。

五輪で得たもの

【海輪】日本にとって、東北にとって大きな節目の年である2020年を迎えました。今年行われる東京五輪・パラリンピックは東日本大震災からの復興を後押しする「復興五輪」と位置付けられています。この一大イベントが、真の復興を成し遂げるためのエンジンになることを強く期待しています。ただ、「復興五輪」として招致された経緯はあるものの、最近では「復興」の影が薄くなっているようにも感じます。そこで東北地方の官民では、今春開業予定の高輪ゲートウェイ駅前に、情報発信拠点「東北ハウス」を設置し、国内外の方々が東北・新潟へ足を運んで頂き、被災地の今の姿を見て頂くきっかけにしたいと考えています。

【千田】中学時代にフェンシングを始めましたが、競技人生の原点となるタミーニングで指導者に恵まれたことは大きなポイントでした。もともとスポーツが好きで、野球やサッカー、水泳、陸上などの競技大会にも出場していましたが、指導者には叱られたりすることが多かったです。でも、フェンシングの指導者は選手に棒をはめようとせず、「できるようになったのか。すごいな」と、褒めて伸ばすタイプの人でした。だから、「やらされる」のではなく、自発的に練習するようになりました。競技の楽しさを原点で知ることができた意味は大きかったと思います。

【齋藤】ソフトボール選手にとって夢舞台である五輪には、選手として監督として計4回出場しましたが、全てが思い出になっています。「もっと力を出せたのでは」と感じることもありました。選手の立場と監督の立場とは違った意味合いがありましたね。選手の時はいかに自分が結果を出さかにか神経を使う必要がありました。監督の立場は違います。私自身はマウンドに立てませんから、いかに選手たちが大舞台で羽ばたけるか。そうした視点を持ちつつ、「プレーヤーズ・ファースト」の精神で指導に臨む必要があります。選手時代から常に目指していたのは金メダル。目標が高く設定していましたが、振り返ると失敗の方が多かったです。シドニー五輪で銀メダルを獲得する前のアトランタ五輪では4位。団体戦で勝つ難しさを痛感しました。そうした失敗の経験も、指

導していく中では役立ちました。北京五輪で選手に金メダルを掛けてあげられたときや、国旗が掲揚されたときの喜びは忘れられません。【海輪】成功だけでなく、失敗や挫折も経験談として伝えられることは、指導者としての強みでもありますね。千田さんは北京、ロンドンと2大会に出場しています。ロンドン五輪での銀メダルには日本中がわきたちました。そこまでの道のりで特に印象深かったことは何でしょうか。【千田】中学時代にフェンシングを始めましたが、競技人生の原点となるタミーニングで指導者に恵まれたことは大きなポイントでした。もともとスポーツが好きで、野球やサッカー、水泳、陸上などの競技大会にも出場していましたが、指導者には叱られたりすることが多かったです。でも、フェンシングの指導者は選手に棒をはめようとせず、「できるようになったのか。すごいな」と、褒めて伸ばすタイプの人でした。だから、「やらされる」のではなく、自発的に練習するようになりました。競技の楽しさを原点で知ることができた意味は大きかったと思います。

東芝エネルギーシステムズ株式会社

東北支社 東北・電力部 〒980-8401 仙台市青葉区本町2-1-29(仙台北町ホンマビル) 022-264-7520

<https://www.toshiba-energy.com>





①北京五輪で金メダルに輝き、胴上げされる齋藤さん(AFP=時事)  
②子供たちに伝えているのは「自分に期待する」ことの大切さ

### 「人間力の向上」を重視

齋藤

と自身が芽生え、チームも強くなっています。指導者として大事にしているのは「人間力の向上」です。プレーを指導するのはそれほど難しいことはありません。しかし、選手は歳を重ねるにつれて思うようなプレーができなくなります。いつまでもトップレベルを維持できるわけではないのです。だからこそ「次の人生」の糧になることを身につけさせ、送り出すことも私の役割だと考えています。

【海輪】画一的ではなく、様々な選手の手線に合わせ、個性に応じた指導することは確かに大切ですね。組織のメンバースキルや技術に違いがあり、役割分担を明確にしつつ、時には自らを犠牲にしてもらわなければならぬこともあります。そうしたとき、選手への声掛けは大事だと思います。

【齋藤】日本代表には全国から「エースで4番」というレベルの選手が集まります。それをオーケストラのように奏でられるようにするには、指導者がチームとしての目標、存在価値を伝え、おのれの良さを引き出さなければなりません。だからこそ、選手とのコミュニケーションは重要で、その中で選手の思いをくみ取り、こちらの思いと合致させていくことが欠かせません。「エースで4番」ばかりの組織が強いということ、そうではありません。自己が強い選手たちが自由に行き出したら収拾がつかなくなってしまうよ、実はずいぶん大事。スターティングメンバーから外れた選手がチームのために献身的に尽くせるような組織は強いんです。金メダルを獲得した北京五輪のチームはまさにそうでした。

【海輪】一人一人が「私が、私」という意識だと、組織としての結束力が損なわれてしまいますよね。千田さんも現在は各競技や選手への支援・強化に当たっています。どういった思いを持って取り組んでいますか。

【千田】現役引退後、競技を「する」側から「支える」側に身を置いています。独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSSC)のハイパフォーマンスセンター・ハイパフォーマンス戦略部戦略課に所属し、フェンシングだけでなく、様々な競技の選手や指導者と話す機会が増えました。そうした機会を通じて多くのことを学ばせてもらっています。私自身はコーチングが今後の人生において一つの軸になると考えておりまして、他の競技の指導者との接点を持つことは貴重な経験になっていきます。今の立場を生かし、多くのことを吸収しながら今後の人生の成功につなげたいと思っています。(JSSCの組織下にある)国立スポーツ科学センターでは、プレーヤーやチームの強化に向けた最先端の研究が行われています。ここで良い選手が育つていく様子を学ぶことも、コーチングの技量を磨く一助になると感じています。

【海輪】自らの競技にとどまらず、幅広い分野の指導者や強化方法と接することは、それぞれの良い面を取り入れ、コーチとしての技量を高めるチャンスになりますね。フェンシングにも団体戦があります。チーム力・組織力の在り方についてどうお考えですか。

【千田】完璧な選手など存在しません。それぞれに特徴があり、相性があります。ですから対戦相手に応じてメンバーを構成することが

### スポーツの力は地域活力に

海輪

### ふるさとへの思い

海輪

大切になってきます。対戦相手の特徴、個性といったデータ収集は極めて重要で、その情報をチーム内で共有することが勝つためにも不可欠ですね。

【海輪】相性に合ったメンバー構成が必要というお話は興味深いですね。齋藤さんは弘前市職員としてソフトボールの普及、競技力向上に当たっていらした。指導者として引く手あまただったのではないかと推察できますが、なぜ故郷に戻ろうと思ったのですか。

【齋藤】震災の後、地元弘前で私自身、何が出来るだろうかと考えました。その際、ソフトボールを通じて伝えられることはないか、力になれることはないかと思ったのが大きな理由です。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【海輪】地域活性化に向けてスポーツが果たす役割は大きいですが、昨年は、ラグビーワールドカップで日本中が盛り上がり、東北では岩手県釜石市の鶴住居復興スタジアムが会場になり、明るい話題が国内外に発信されました。東京五輪では、震災で大きな被害を受けた福島県でソフトボールと野球の試合が開催されます。福島への思いはありますか。

【齋藤】福島でソフトボールの試合が行われるのは願ってもないことです。講師として様々な地域のソフトボール教室を訪れると、五輪を楽しみながらという声をよく聞きます。出場する選手たちは全力を尽くし、プレーを通じて復興に貢献してくれるでしょう。会場となる福島県宮古球場が満員になる様子を見たいです。

【海輪】私もスタジアムが満員になることを期待しています。福島県に対しては、いまだ風評被害が根強く残っており、それを払拭するには、実際に国内外から多くの方に訪れてもらうことが一番ではないかと思うからです。

千田さんの故郷・気仙沼も震災で甚大な被害を受けました。その翌年にロンドン五輪を迎えたわけですが、どのような思いで臨んだのですか。

### 「東北ハウス」への期待

海輪

【海輪】震災翌年のことだっただけに、千田さんが気仙沼の人々に与えた喜びはひとしおだったでしょう。おにぎりを150個近くも作ったおばあさんも、きょうと嬉しかったことでしょうか。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

### 地元の声援、意識が前向きに

千田

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。

【千田】震災発生時はドイツで合宿中でした。帰国後、地元へ戻ると変わりました。衣食住にすら困っている被災者がたくさんいる中で、このままフェンシングを続けていいのかわからない葛藤もありましたし、友人、知人を亡くし、気持ちの整理がつかず、精神的にも不安定な時期がありました。



④ロンドン五輪で銀メダルを獲得し、凱旋。多くの人の声援が力になった  
⑤トップスポーツの醍醐味を次の世代に伝えたい

限りあるエネルギー資源を、未来へつなげるために。

エネルギー よりよい明日へチャレンジ。

三菱電機グループは、「つくる」「おくる」「くばる」の先端技術で、エネルギーのネットワークづくりと効率的な利用をサポートします。

**エネルギーをつくる**

化石燃料と再生可能な新エネルギーをベストバランスで活用し、未来につながるエネルギー利用に貢献します。

- 火力・原子力発電
  - <タービン発電機> 小規模プラントから大規模な原子力発電まで幅広い容量に対応した機種ラインナップを提供しています。
  - <デジタル制御システム> プラント運転の信頼性・操作性を向上。国内火力・原子力発電所を始め、中国の原子力発電所にも提供しています。
- 太陽光発電システム
  - グリーンエネルギーを効率的に生み出し、公共施設・ビル・工場・学校・大規模農場・住宅などで活躍しています。

**確実におくる・くばる**

効率的で高品質な電力の供給に貢献します。

- 電力用開閉装置
  - 災害や落雷時の異常電流を瞬時に遮断。電力ライフラインの安定化に貢献します。
- 電力系統監視制御システム
  - 電力系統の状態や電気の流れを集中コントロールすることで、安定した電力供給を支えます。
- 大容量外鉄形変圧器
  - 業界をリードする技術を駆使して、高電圧・大容量変圧器の高効率・コンパクト化を実現。
- 系統保護システム
  - 落雷などの事故発生時に障害区間を即座に切り離し、設備損傷や大停電を防止します。

三菱電機株式会社 東北支社  
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア) TEL. 022-216-4540

三菱電機株式会社

### 「東北ハウス」に 思い注ぐ

—海 輪—

全国の多くの自治  
体が、各国チームの  
事前合宿地として名乗りを挙げてい  
ます。そうした地域の人と、海外のトッ  
プアスリートが触れあう機会が生ま  
れることは、自国開催の大きなメリッ  
トです。その利点に、ソフトボールも  
絡んでいかなければなりません。24年  
のバリ五輪では競技種目から外れま  
すが、ソフトボールに励む子供たちの  
夢は、やはり五輪にあると思います。

いでしょうか。東京五輪には国内外から多くの方が来ます。弘前にも現在、海外からたくさんの方が訪れ、地元の人とのふれあいが生まれていきます。こうした交流がさらに増えることは、地元にとっても有益です。

【千田】 私も素晴らしい事業だと思えます。東北は食べ物がおいしい、温泉もたくさんある。自然は豊かです。気仙沼ではサンマやカツオ、ホヤ、「モウカ」の星(モウカザメの心臓)など新鮮な海産物が豊富です。こうした東北の魅力が、より多くの人に知ってもらいたいです。「東北ハウス」がその足掛かりになることを期待しています。

【千田】 東北人には「自慢したくない」面があります。自分の身の周りにあるものが「当たり前」だと考えてしまい、その魅力に気づいていない面があるのかもしれないですね。

【千田】 20年は日本のスポーツ界にとって一つのピークになり、スポーツ文化が醸成される土壌にもなるでしょう。ただ、私たちスポーツ界に身を置く者にとって何より大事なことは、20年の熱気、トップスポーツの面白さを、20年以降を担う子供たちに還元することではないでしょうか。スポーツを通じて教育の場として、東北には魅力があると感じています。実際に東北出身のアスリートは、世界の舞台で大いに活躍しています。世界水準のアスリートが、今まで以上に日本中のあちこちで活動できる環境になると、裾野の広がりにもつながります。

【千田】 トップスポーツの拠点が各地に形成されれば、東北・新潟を含む地方の活性化につながる可能性もありそうですね。また、20年の熱気をお二人に伝える重要性についてお二人の認識は共通しています。【千田】 次の世代へのメッセージをお聞かせ願えますか。

【齋藤】 夢は大きく持つこと、自分に期待すること。この2つを伝えたいですね。調子が悪かったり、マイナス思考に陥って

【千田】 「よみがえる姿」、PRをお願いします。

【千田】 最後に、今年の目標を教えてください。

【齋藤】 昨年、日立サンディーバの監督に就任しました。20年のシーズンはリーグ優勝を目指し、チーム一丸となって取り組みます。私自身も日立で育ててもらったという思いがあるので、チームに恩返ししたいと思っています。

### 2020年の先を見据えて

【海輪】 ありがとうございます。お二人からお話があった通り、東北には世界に誇れる自然、文化などがあります。「東北ハウス」を通じて魅力を発信し、国内外の多くの観光客に東北・新潟へ足を運んでもらいたいと思います。

【千田】 20年は日本のスポーツ界にとって一つのピークになり、スポーツ文化が醸成される土壌にもなるでしょう。ただ、私たちスポーツ界に身を置く者にとって何より大事なことは、20年の熱気、トップスポーツの面白さを、20年以降を担う子供たちに還元することではないでしょうか。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 目標を高く設定することの大事さを知ってもらいたいです。多くのご経験を、自分の好きな道を選ぶことも大切です。設定した目標に向かっていく過程では、きつと失敗にも直面するでしょう。でも、自分の好きな道ならばトライ・アンド・エラーも楽しめます。努力したことは決して無駄にはなりません。全力でチャレンジすることは、必ずその後の人生に役立ちます。私にも

【千田】 16年のリオデジャネイロ五輪を前に、現役を続けるか否かで迷った時期があります。当時はまだトップレベルにいたという自負もありましたが、仮に東京五輪に出たとしても「銀メダル以上」は難しいとも考えました。ですから現役を引退し、「次の人生における金メダル」を狙おうと思ひ、今に至っています。私にとっての「次の人生における金メダル」というのは、スポーツ支援・研究の分野を極めることです。この目標に向けて、後悔のない1年にしたいと思っています。

【海輪】 ありがとうございます。それぞれの競技への情熱、競技から得た大切なもの、故郷である東北への思いが伝わってくるお話を伺えました。お二人が指導・支援した選手が東京五輪で活躍されることを期待しています。私たちもまた、東北・新潟に熱い思いを抱いており、その思いを「東北ハウス」事業の成功に向けて注ぎたいと考えています。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。



復興五輪の熱気を次世代に、そして東北・新潟の活性化につなげていきたい(左から、齋藤さん、海輪会長、千田さん)

【齋藤】 北京五輪で金メダルを取った後、一時的に盛り上がりましたが、その後は人気は下降しているように思えます。やはり、ソフトボールが五輪

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

【千田】 夢は、やはり五輪にあると思います。28年のロサンゼルス五輪で復活できるよう、20年以降も力を尽くしていきたいです。

2020年東北・新潟の情報発信拠点事業

TOHOKU HOUSE 東北・新潟

TOHOKU JAPAN 駐

2020年 7月18日(土) ~ 8月9日(日)

大型スクリーンで上映するダイナミックな映像が目玉の一つ

高輪ゲートウェイ駅前特設会場 「Takanawa Gateway Fest」 ホールB

高輪ゲートウェイ駅前特設会場イメージ [JR東日本提供]

[東北ハウスwebページ] www.tohokuhouse.jp

「感謝」「交流」「明日へ」~3つのゾーンで魅力発信~

地域とつながり、未来へつなげる。

総合設備エンジニアリング企業として、  
高品質の技術と新しい価値をご提供します。

総合設備エンジニアリング企業

**Yurtec**

株式会社 ユアテック

http://www.yurtec.co.jp/

本社/仙台市宮城野区欄岡4丁目1-1 〒983-8622 TEL.022-296-2111 支社/青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島・新潟・北海道・東京・横浜・大阪  
東京本部/東京都千代田区大手町2-2-1 〒100-0004 TEL.03-3243-7111

※ユアテックは「ユアテックスタジアム仙台」のネーミングライツスポンサーです。